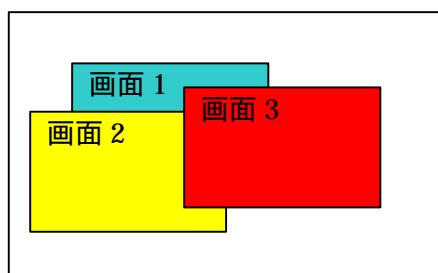


『タブブラウザについて』

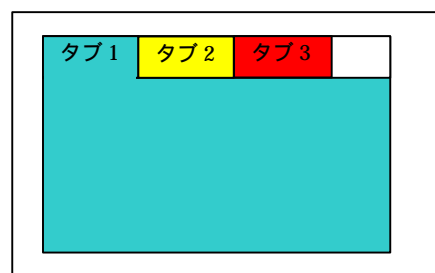
皆様は普段ホームページを閲覧する際にどのような Web ブラウザを使用しておられますでしょうか。おそらくパソコンに元々入っているブラウザ(Internet Explorer 等)を、そのまま利用している方が大半かと思われます。既にご存知の方もみえるかもしれませんが、Web ブラウザはこれだけではありません。今回は「タブブラウザ」と呼ばれる Web ブラウザについてご説明致します。

今のところ主流となっている『Internet Explorer(6 以前)』は「一つのウィンドウで一つのページを見る」という形式です。従って複数のページを同時に見ようとするといくつもウィンドウを開く必要があります。特に調べものをする際は結果を見比べたりするので、それまでに開いたページを閉じずに次々とウィンドウを開くことになりやすく、画面が混雑しがちです。その結果、不要なウィンドウを閉じようとして、誤って必要なウィンドウを閉じてしまう可能性が高くなります。そういった手間を軽減してくれるのが「**タブブラウザ**」と呼ばれるものです。

「タブブラウザ」とは、「一つのウィンドウ内の複数タブにページを表示する」機能をもった Web ブラウザのことです。全ての操作が一つのウィンドウ内で行うことができるので、画面が混雑することもなく快適に複数のページを切り換えて閲覧することが可能です。



従来のブラウザ



タブブラウザ

代表的なものとして『[Internet Explorer 7](#)』があります。

これは Internet Explorer の最新版で、『Windows Vista』が入っているパソコンには最初からインストールされています。また、Microsoft のホームページよりダウンロードすることも可能です。

他の代表的なタブブラウザとして、『[Mozilla Firefox](#)』、『[Opera Browser](#)』、『[Sleipnir](#)』等があります。

これらのソフトは基本的に無料で利用することが可能です。(ソフトによっては有料のものもあります。)

操作方法も Internet Explorer とそう極端に変わることは無く、インストールや初期設定もそれほど複雑ではありません。(ソフトによってはいろいろと初期設定が必要なものもありますが、推奨設定等が入っていることが多いので必要に応じて後から変更すれば良いと思います。)

他にもインターフェイスをカスタマイズできたり、拡張機能を追加できるものもあります。

このようにタブブラウザは非常に便利なものですが、全く問題がないわけではありません。

ホームページの多くが『Internet Explorer 6』で閲覧されることを前提として構築されており、ページによっては正常に表示されない場合があります。

また、パソコンによっては正常に動作しなかったり、パソコンの動作そのものが不安定になってしまうこともありますので、使用する際はくれぐれもご注意願います。

どのような Web ブラウザを選択するかは使い方次第です。

いろいろ試してみるもよし、使い慣れたものを使い続けるも人それぞれです。

自分にあった Web ブラウザで、より快適にインターネットをご利用頂ければと思います。